

2 がっひかりごう

平成 30 年 2 月 1 日 輝 保 育 園

寒さが一番厳しい 2 月ですが、子ども達は寒さをものともせず園庭に出て、元気に遊んでいます。寒さが苦手だった子も、友達と遊ぶ楽しさや、体が温かくなってくることを体感することで、積極的に戸外で遊ぶ姿がみられるようになりました。今月は生活発表会があります。様々な活動を通して、子ども同士が刺激し合っ、小さな失敗や達成感を積み重ねながら成長していく姿が見られます。発表会当日は、そんな姿から成長を確認していただくことを期待しています。

【生活発表会】

予定日 2 月 10 日(土曜日)

会場が狭く窮屈なことから、今回から少し型を変えたいと考えています。

詳細は近日中にお知らせします。

当日は、頑張っている子ども達を温かく見守り、拍手をお願いします。



＝ ナース・レポート ＝

【インフルエンザ】

インフルエンザは飛沫感染で、潜伏期間は 1～2 日、突然の高熱や強い頭痛、全身倦怠感や関節の痛みなど様々な症状を伴います。

インフルエンザが体内で増殖するスピードはすさまじく、およそ 8 時間で 100 倍に増加すると言われています。

これはつまり、わずか 1 つのウイルスが一昼夜、24 時間の間に 100 万個にも達することを意味します。

このインフルエンザウイルスが数千万に達すると症状が出始めます。

このことから、インフルエンザの検査を受けるには、発症後 12 時間から 48 時間程度で受けることが望ましいとされています。

また、インフルエンザは予防接種を受けていても感染することがありますが、予防接種を受けていると症状が軽く、発熱も 38℃ に達しないこともあるようです。

このため、症状がインフルエンザの典型的な症状じゃなくても、インフルエンザに感染している可能性があり、つまりは周囲の人に感染させてしまう可能性があります。

特に子どもやお年寄り、妊婦さんや基礎疾患をお持ちの方は、普通の風邪の可能性が高いように思っても、大事をとって医療機関を受診し、必要に応じてインフルエンザの検査をうけましょう。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ コミュニケーション ☆☆

～ 大人の関わり方 ④ ～

3. 会話のキャッチボールをする。そのために、話の内容について、さらに尋ねる。

子どもにとって話したいことがあっても、大人が「そう、よかったね」とだけ話し、会話を打ち切ってしまうと、「もっと話したいのにー」、「もっと聞いてくれてもいいじゃない」となります。

コミュニケーションに必要な会話のやり取り(キャッチボール)を覚えていく貴重な機会が失われます。

「それでどうしたの?」、「どう思ったの?」といった言葉から会話を継続させていくことが重要になります。

子どもとコミュニケーションをとる時間がなかなか作れないという場合もあると思います。

そのような時はちょっと面倒だと思ってもあるでしょう。でも、大人が忙しいので、子どもの側からの会話の機会を減らす、というのはできるだけ避けたいものです。

少しの時間でもいいので、会話のキャッチボールを増やしてみてください。

例; 「ただいま」⇒「おかえり。大きな声で言えたね。今日いいことがあったの?」



「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

こ っ ち ゃ ん の よ う す

たんぽぽぐみ
0 才児



おしゃべりが上手になってきた 0 才児のお友だち。活動中や遊びの中でも色々な声が飛び交っています。高月齢のお友だちは「マンマ」、「ワンワン」など物の名前や、「〇〇ちゃん」とお友だちの名前も、なんとなく言えるようになってきました。言葉と物や人、動作との関連性に気付き、絵本の中のゾウを見つけては、「ぞう、ぞう」と指を差したり、お友だちに「おいで」と言って手招きをして、言葉によるコミュニケーションも増えました。また、絵本を持ってきては「これなに」と聞くこともできます。最近では、アンパンマンが描かれている絵本や毛布にみんなで反応し、声を大にして呼んでいます。言葉が成長する過程には大きな差はなく、誰に教えてもらわずとも学んでいくと言われています。その偉大な力をゆっくりと見守っていきたいと思います。

たんぽぽぐみ
1 才児



1 月は、雪が降る日もあり、寒い日々でしたが、戸外に出てたくさん遊びました。殆ど積もらなかった雪ですが、遊具に少し残っているのを見つけ、知らせると、人差し指でそっと触り、「つめたーい」と喜んでいました。とても冷えた日には、水たまりに出来た氷を見つけて大はしゃぎです。手に持って歩き回る間にとけてしまうと、また次の氷を探しています。雪も氷もずっと触っていると手が冷たくなって、泣いてしまう子もいました。冷たくて「痛い」と言葉で表現する子もいます。冬にしか経験できない遊びに少しでも触れる事が出来てよかったです。寒い中でも遊びたい子、寒くてお部屋に早く入りたい子と様々なので、子どものその日の状況に合わせて、先に入室するチームと、最後まで遊ぶチームに分かれてそれぞれに合った活動を楽しんでいます。

すみれぐみ
2 才児



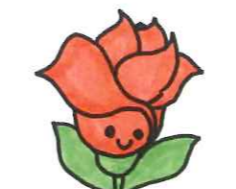
生活発表会に向け、子ども達が大好きな絵本「おべんとうバス」の世界を劇にし、遊んでいます。夫々が好きな登場人物になりきって、言葉のやり取りを楽しんでいます。劇遊びをしたある日、エビフライになった女の子がいました。しかし、一人だったため少し不安そうな表情をしています。また別の日、今度は仲良しのお友だちと、プロッコリーになりました。すると、一人で不安そうな表情をしていた女の子が、今度はニコニコ笑顔で楽しそうにしています。その姿を見て、友だちの存在、友だちの力のすごさを改めて感じる事が出来ました。本番当日は、雰囲気の違いから泣き出したり、戸惑ってしまうかもしれませんが、普段の友だちや保育士との関わりや、言葉のやり取りを楽しんでいる姿を少しでも見ていただけたらと思います。

ちゅうりっぷぐみ
3 才児



手遊びをもとにした表現遊びをしています。オオカミさんがブタさんを追いかけます。互いによく気持ちを伝えられず、悲しかったり悔しかったりする気持ちや、「もう遊ばない!」とケンカをしながらも本当は互いに大好きな気持ち。そんな日常の子どもの様々な気持ちを遊びの中に取り入れ「オオカミさんはどんな気持ち?」、「ブタさんはどんな気持ち?」と互いの気持ちに目を向ける経験を重ねています。早いもので進級まで残り 2 カ月となり、発達評価表を基にして、身辺自立に関して説明したり、確認したりすると「こうよね!」ときちんと理解し、張り切って行動に移す姿が増えました。今後は、習慣化していくことが課題です。出来ている時にこそ言葉を掛け、子どもがよい行動なのだと思うよう、残りの時間を一緒に過ごしていきます。

ばらぐみ
4 才児



1 月はインフルエンザや風邪が流行しました。元気な子も休んでいた子も「早く会いたい」と友だちに会えるのを楽しみにしていました。そんな中、ばら組の締めくくりである生活発表会に向けて、遊戯、合奏、劇遊びをしています。全員揃って取り組むことがなかなか出来ませんが、クラスでする時は楽しく、他のクラスや保育士に見られている時は恥ずかしそうです。「大きい声で言えたね」、「今のかつこよかった」などと褒め合い、互いに意欲を高め合う姿も見られます。葛藤を乗り越えようと揺れ動くこの時期ですが、一人ひとりが自分の力を振り絞って頑張っています。目に見える姿だけではなく、心の成長も大切に見守っていきます。本番当日は、恥ずかしさや緊張もあると思いますが、それを乗り越え楽しんで欲しいと願っています。

ひまわりぐみ
5 才児



園生活最後の生活発表会に向かって意欲的に活動に取り組んでいます。合奏では、友達と一緒に合わせて演奏したり、リズムの掛け合いを意識しながら演奏する楽しさが感じられるようになってきました。劇ごっこでは役のグループ毎に使用する道具や、動き方やセリフなどを自分達で考えました。どんな道具が必要なのか、どんな色や形にしたらいいのかなど、保育者もいっしょに話し合いました。始めは主張の強い子の意見が通る場面も多く見られました。しかし、経験を重ねることで、皆の意見を取り入れると活動がおもしろくなる事を体験し、自信を持って自分の意見を言うようになってきました。友達とどうすれば良いのか話し合いながら自信を持って表現し、皆で一つの事をやり遂げる喜びが感じられるようになっていきます。



＝ 2 月の行事予定

- 2 日(金) 避難訓練、豆まき
- 10 日(土) 生活発表会
- 14 日(水) 子どもの音楽会(ホール 15:00～)
- 22 日(木) 集合写真撮影
- 23 日(金) 身体測定、お誕生会